

科目分類	助産学実践科目 実践・関連		開講時期	1年 前期		
授業科目	地域母子保健論					
選択／必修	必修	単位数（時間数）	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	野々山 未希子 ・ 山下 里美					
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	指定なし・事前連絡必要			

到達目標	<p>1) 地域における母子保健活動の意義と活動の場について説明できる。</p> <p>2) 助産師による地域の子育て支援について説明できる。</p> <p>3) 産褥期の退院に向けた健康教育・保健指導の意義を理解する。</p> <p>4) 退院に向けた健康教育・保健指導に必要な基礎的技術を習得する。</p>
授業概要	<p>地域における母子保健活動の意義と実際について理解し、助産師の役割について学修する。また、母子を地域につなげる支援について学修する。</p>
授業内容	<p>第1回 様々な場での母子保健の意義、活動 地域母子保健の概念と意義、地域母子保健活動の変遷、</p> <p>第2回 様々な場での母子保健の意義、活動 地域における母子保健活動、地域母子保健の場</p> <p>第3回 様々な場での母子保健の意義、活動 学校保健と母子保健活動、産業保健における母子保健活動</p> <p>第4回 様々な地域における母子保健① グループ討議</p> <p>第5回 様々な地域における母子保健① 発表、まとめ</p> <p>第6回 様々な地域における母子保健② グループ討議</p> <p>第7回 様々な地域における母子保健② 発表、まとめ</p> <p>第8回 様々な地域における母子保健③ 助産師による地域の子育て支援活動の現状</p>

	<p>第9回 様々な地域における母子保健③ 助産師による地域の子育て支援活動の現状</p> <p>第10回 産褥期の健康教育と保健指導 産褥期の健康教育と保健指導の意義と必要性</p> <p>第11回 産褥期の健康教育と保健指導 健康教育・保健指導案の作成①</p> <p>第12回 産褥期の健康教育と保健指導 健康教育・保健指導案の作成①</p> <p>第13回 産褥期の健康教育と保健指導 健康教育・保健指導教材の作成②</p> <p>第14回 産褥期の健康教育と保健指導 健康教育・保健指導教材の作成②</p> <p>第15回 産褥期の健康教育と保健指導 発表、まとめ</p> <p>第1回－7回、第10回－15回 野々山 第8回－第9回 山下（現地授業：いちご助産院）</p>
教科書・ 参考書等	教科書：助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第6版，医学書院
成績評価 基準・方法	参加態度・課題レポート・発表 100%
履修要件	なし
留意事項 その他	<p>課題の作成に当たっては、看護での既習範囲に加えて、自分で資料を収集し、自分の考えをまとめ、伝えること。</p> <p>本科目を修得していないと、助産学実習ⅠⅡⅢⅣは履修できません。</p>